

鼓童の交流学校公演。
身体まるごとで感じる、本物の響き。
やわらかなところを、びっくりさせたい。

鼓童の交流学校公演は、できるだけ近い距離で本物の音をお届けし、和太鼓や和楽器の楽しさを感じてもらうプログラム。太鼓の魅力、太鼓を打つ楽しさを感じることはもちろん、太鼓を叩く鼓童メンバーと接することで、元気や勇氣、自信や希望、そして自分自身の発見につながるきっかけがもてる公演です。



2014.9.1製作

結成以来33年、
鼓童の太鼓の響きは、
地域へ、社会へと広がっています。

～公益財団法人 鼓童文化財団の活動

鼓童の取り組みは舞台活動にとどまりません。公益財団法人 鼓童文化財団では、豊かな自然と芸能の宝庫である本拠地・佐渡において、グローバルかつローカルな取り組みを行なっています。



鼓童文化財団研修所(佐渡・柿野浦)



佐渡太鼓体験交流館(たたこう館 / 佐渡・小木)

■国際芸術祭「アース・セレブレーション」

1988年より佐渡で開催している夏のフェスティバル。「たたく」をテーマに世界や日本の優れたアーティストを招き、佐渡から世界へ、海を越えた「地球祝祭」の場を発信し続けています。米国ニューヨークタイムス紙に「日本で最先端のワールドミュージックイベント」と評されました。

■佐渡太鼓体験交流館(たたこう館)

佐渡市の指定管理者として鼓童文化財団が運営を行っています。太鼓や佐渡の伝統芸能体験、子ども達の総合学習や郷土学習、修学旅行の受け入れ、地域の生活文化の調査研究の実践など、地域文化を育む活動を支え、観光振興や地域活性のための交流拠点の役割を担っています。

■鼓童文化財団研修所

鼓童の研修生制度は1985年に始まり、鼓童の舞台メンバーを養成すると共に、広く社会一般に貢献できる人材を育成するため様々な年齢・目的の人を受け入れてきました。
2014年度より鼓童の舞台メンバーを養成するコースと、佐渡定住を希望する人や、各地の地域振興などに関わる、地域づくりのための人材を育成する2つのコースとなりました。

■地域おこし

鼓童の拠点である佐渡・小木地域を中心として、観光振興、特産品開発、町並み保全・活用、深浦地区の廃校の活用(深浦学舎)などを行い、住民の方々や行政と協働した地域づくり、旅行業を活用した新たな佐渡観光づくりに取り組んでいます。

Photo: 岡本隆史、鼓童

■ハートビート・プロジェクト

鼓童は芸能の持つ力を信じ、東日本大震災からの復興を応援する「ハートビート・プロジェクト」を2011年より行っています。公演を観て頂いた方々に元気を届けること、被災地での芸能復興を支援すること、また鼓童のネットワークを通じて日本や世界の方々にメッセージを伝えることを続けてまいります。



Design: 紀ノレナ

TAIKO PERFORMING ARTS ENSEMBLE

太鼓芸能集団

鼓童

KODŌ

鼓童

伝統的な音楽芸能を
現代において再創造を試みる鼓童、
1981年の衝撃的なデビュー以来、
世界各地で大きな旋風を巻き起こす。

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能に無限の可能性を見だし、現代への再創造を試みる集団。「鼓童」とは、人間にとって基本的なリズムである心臓の鼓動から音(おん)をとった名前で、大太鼓の響きが母親の胎内で聞いた最初の音をイメージしています。そして「童(わらべ)」の文字には、子どものように何ものにもとらわれることなく無心に太鼓を叩いていきたいという願いが込められています。

1981年、ベルリン芸術祭でデビュー。以来、公演は5,500回以上を数えます。特に中心的な「ワン・アース・ツアー」は、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をテーマに世界各地をめぐり、これまでに46ヶ国で3,700回を超える公演を行っています。こうした劇場公演のほか、小中高校生との交流を目的とした「交流学校公演」や、ワールドミュージック、クラシック、ジャズ、ロック、ダンスなど異なるジャンルの優れたアーティストとの共演、世界の主要な国際芸術祭、映画音楽への参加など、多彩な活動を行なっています。

「実のところ、音楽に「完璧」というものがあるとすれば、世界のあらゆるグループのうちで鼓童こそが、その最も近くに位置しているのだ。」
(ボストン・グループ「アメリカ」)



「鼓童ワン・アース・ツアー2014～伝説」(坂東玉三郎演出)より「カデン」(英国、2014年)

Photo: Simon Jay Price

■坂東玉三郎氏と鼓童

2012年、鼓童は坂東玉三郎氏を芸術監督に招聘しました。両者の舞台上での出逢いは、2003年11月、玉三郎演出の鼓童単独公演「鼓童ワン・アース・ツアー スペシャル」。この公演までの約2年間に、5度にわたり佐渡・鼓童村で稽古を共にして舞台を創り上げました。

2006年には音楽舞踊劇「アマテラス」で初共演。アマテラスを演じる玉三郎と八百萬の神々=鼓童が織りなす舞踊と音空間により、太鼓表現の新境地を拓いたと賞されました。同作は2007年8月に歌舞伎座で、2013年には新しいキャストと演出で東京、博多、京都で再演しています。2009年には「打男 DADAN」を初演。2012年2月にはパリ・シャトレ座で4日間連続公演を行いました。そして同年5月には芸術監督就任第1作となる「鼓童 ワン・アース・ツアー2012～伝説」を初演、日本をはじめ欧米で120回以上の公演を行ないました。



「アマテラス」(坂東玉三郎演出)(2013年)

太鼓の絆は国境や文化を越えて ～国際的なイベントにも数多く出演

国際的なイベントへの出演実績：ロサンゼルス・オリンピック芸術祭、香港芸術祭、エジンバラ国際芸術祭、ベルリン市制750周年祭、ブラジル日系移民80周年祭、オーストラリア建国200周年祭、Close-up of Japan (三井広報委員会主催)、ノーベル平和賞100周年記念コンサート、2002FIFAワールドカップ™日韓大会など



左上より：ベルギーの街角で(2008年)／FIFAワールドカップ™日韓大会(東京、2002年)／ノーベル平和賞100周年記念コンサート(オスロ、2001年)／アテネ・アクロポリスのヘロド・アティコス音楽堂(1995年)／カーネギーホール(ニューヨーク、1995年)／フジロックフェスティバル(新潟、2006年)

■鼓童グループ理念

私たちは、太鼓とともに世界をめぐり、多様な文化や生き方が響き合う「ひとつの地球」をめざします。

■総公演回数：約5,500回

うち「鼓童ワン・アース・ツアー」としての公演：約3,700回

■公演国数：46ヶ国

過去に出演した主要な劇場：カーネギーホール、ボストン・シンフォニーホール(アメリカ)、ロイヤル・フェスティバルホール(英国)、オペラ座ガルニエ宮、シャトレ座(フランス)、ベルリン・フィルハーモニー(ドイツ)、サンカルロ歌劇場(イタリア)、ヘロド・アティコス音楽堂(ギリシア)、国立劇場、歌舞伎座(日本) など

■鼓童の歴史

1971年(昭和46年)～1981年(昭和56年)「佐渡の國鬼太鼓座」として活動。
1981年(昭和56年) 鼓童結成。ベルリン芸術祭で鮮烈なデビューを果たす。
1984年(昭和59年) ロサンゼルス・オリンピック芸術祭参加。
1988年(昭和63年) 鼓童村開村。「アース・セレブレーション」開始。
1994年(平成6年) 外務大臣表彰、国際交流基金地域交流振興賞などを受賞。
1995年(平成7年) 日本レコード大賞特別賞受賞。
1997年(平成9年) 財団法人 鼓童文化財団設立。アース・セレブレーション10周年。
2001年(平成13年) 日本人として初めてノーベル平和賞コンサートに出演。
2002年(平成14年) 日韓W杯公式アンセム曲に参加。オフィシャル・コンサート出演。
2003年(平成15年) 坂東玉三郎演出による「鼓童ワン・アース・ツアー スペシャル」を開催。
2006年(平成18年) 結成25周年記念、坂東玉三郎との共演で「アマテラス」を初演。
2010年(平成22年) パリ・オペラ座でバレエ作品「Kaguyahime 輝夜姫」に出演。
2012年(平成24年) 歌舞伎俳優の坂東玉三郎氏を鼓童の芸術監督に招聘。